



小学校で挨拶する加藤会長

神戸ユネスコ協会がカンボジア訪問

カンボジア訪問

理事会長が案内した。今回の訪問では、コンボンチユナ
ン県の小学校を二ヵ所回り、生徒た
うに学用品を配布した。また夢ホー
ムでは、お米を二百キログラム寄贈
してくれた。

同協会は、近い将来、カンボジア
に小学校の校舎を寄贈する計画があ
り、このたびの訪問旅行は、小学校が
検察の一環として実施された。幸い、
校舎を切に必要としている小学校が
見つかったので、今後、さらに計画
を煮詰めていく予定だ。

愛知県安城市の石川桂さん（里親会員）が個別に支援しているカンボジアの家族ら五人が八月三日～八日、石川さんの招きで来日した。一行は、愛知県内を中心に観光、小学校などを視察、茶道体験、一般家庭での交流、歓迎会などを楽しみ、八日の午前中、中部国際空港を後にした。

愛知県内の本会会員である近藤鉄一さん、三浦桂子さんが石川さんをサポートしていくださり、カンボジアの皆さんは良い思い出を胸に帰国した。



8月6日 安城市七夕祭りを見学

石川桂さんの招きでカンボジアから五人来日

私はセイー・スレイヴィンイの両親でセイ・ホックシム（父）、ゴーン・スリモン（母）と申します。日本の教育システムには大きな学校があつて、先生達も経験的ついぱいで、生徒達に教えてることに感心しました。また、日本人は貧しい人かお金持とか、見分けがつきませんでした。日本は工業、商業、農業と経済も発展しています。大きな国際空港もあつて、電車も沢山走っています。スーパーは地下にもあります。海の下に観光地があり、上の方には古い城がありま

カンボジアが発展する事を助ける日本政府と日本人の先生たちに感謝します。カンボジアに帰りいろいろ日本のことを親戚とカンボジア人に伝えていきます。カンボジア人と日本人の友情を今後ともお願ひします。

日本を訪問するにあたり私の家族を支援してくださった石川桂様、本当に有難うございました。

娘のスレイヴィンイを支援してくださる石川桂様に感謝し、長生きしてくられる事をお祈りします。

今でも、私は安城市の素敵な景色を思ひ出しています。

お礼の手紙が届きました

現地文はカシミア語
のスタッフが日本語訳

里子家庭訪問記録

名前：ルエン・レエン	学校名：サンハックサットレイクメール小学校
年齢：10歳	学年：小学校の4年生 性別：男の子
住んでいる場所：コンポンスプー県 ウドン郡 ヴィルボンコミュニーン	
所要時間（徒步又は自転車）：徒步：15分	
好きな教科：国語（特に読解が好きです。）	
苦手な教科：算数（特に掛け算の計算式を解くのが難しいです。）	
担任から一言：成績は、道徳：A、学校の活動：B、健康：A、出席：B	
家庭状況：5人の兄弟です。弟2人、妹2人、ルエン・レエン君は長男です。 父親がいます。母親がいます。現在、父親、母親と5人の子供で暮らしています。	
一日の過ごし方：朝5時に起きると、家の周りの掃除します。朝食は時々します。6時30分頃に、身支度をし、学校に行きます。授業が終ってから家に戻ります。昼食の後、下の兄弟の世話をします。夕食は家族と6時半頃にします。寝る前に、7時半から9時まで本を読んだり、学校で勉強したことを復習してから9時半頃に寝ます。	
好きな遊び：サッカーをするのが好きです。	
好きな食べ物：ライチー（カンボジアの果物）	
将来の夢：医者になりたいです。	
	<p>備考 : レエン君の家族の生活は村の他の人達と比べて大変苦しいです。家には田んぼがありません。田んぼの季節になつた時、両親は他の人の田んぼで仕事をしています。一日、懸命に稼いでも、一日しか食べられません。時々、仕事がない日もあります。その時、家族の全員はご飯も食べられません。レエン君は一番上の子供です。それで、両親がいないときは、下の兄弟の世話をします。2011年度に里親さんのお陰で、小学校の4年生になります。学力は普通だそうです。</p>

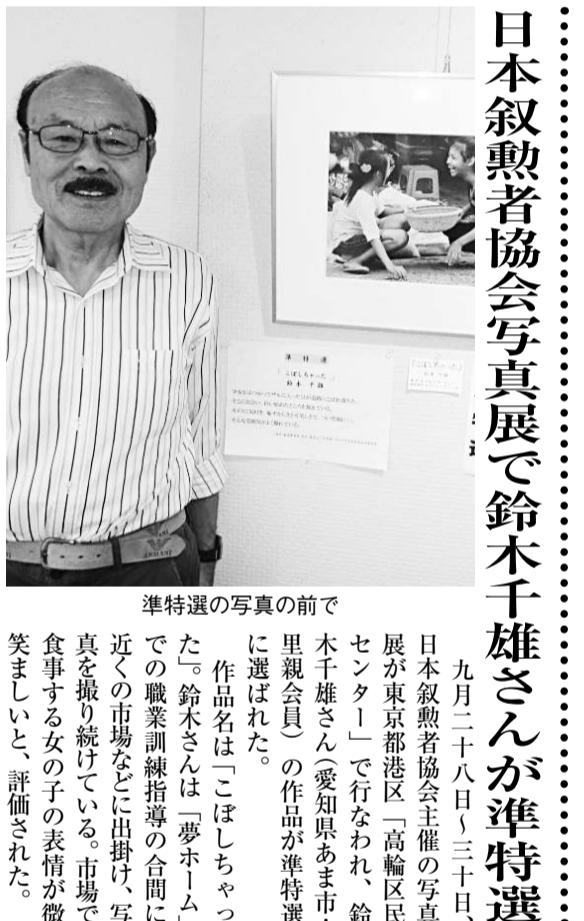


集まつた村の子どもたち

クメール教育里親基金活動レポート

神奈川県民センターで写真展を開催

福井県高浜町で写真展を開催



日本叙勲者協会写真展で鈴木千雄さんが準特選
（九月二十八日～三十日）



カンボジア支援3団体が共催して行なわれた

八月二十五日（三十一）日、神奈川県民センター、展示場（横浜市神奈川区）で写真展『カンボジアのこどもたち』を開催した。本会のほか、國學院大學国際協力サークル（優志）と東海大学国際協力サークル「AIBEINI」が共催した。また、アンコールワット遺跡群の写真で著名な写真家、BUNKU斎藤さんの作品も展示した。「カンボジア王国大使館」も後援してくれ、オープニングには大使代理で山本特別補佐官が出席、お祝いの言葉を頂戴した。

十雄さんが準特選の写真の前で
日本叙勲者協会主催の写真
展が東京都港区「高輪区民
センター」で行なわれ、鈴
木千雄さん（愛知県あま市・
里親会員）の作品が準特選
に選ばれた。

作品名は「こぼしちゃつ
た」。鈴木さんは「夢ボーム」
での職業訓練指導の合間に
近くの市場などに出掛け、写
真を撮り続いている。市場で
食事する女の子の表情が微
笑ましいと、評価された。

九月十八日（十九日、福県高浜町（和田地区）で開された「路地祭り」にて、眞展「カンボジアの子どもたち」を開催した。高浜町在の佃絹代さん（里親会員）企画した。

同祭りは、町おこしの一で毎年行なわれ、ガレージセール、古着ファッションショーコンサートなどできわった企画した。

桑原淑子さん カンボジア、コンポンブー県の小・中学校で音楽ボランティアで教えている原淑子さん（福島県二本松市里親会員）が八月二十四日、二本松市商工会館で行なわた「一本松ロータリークラブ」の例会で活動を紹介、理解協力を呼び掛けた。二十五日の同クラブ会員が出席した桑原さんは活動の継続をいい、機会あるごとに樂器の付などを呼び掛けている。会の席上、ハーモニカなどを購入費として同クラブ会長ら淨財が贈られた。

桑原さんは、災害復興被応援オペラ公演（十一月十一日、二本松市市民交流センター）を企画している。入は無料だが、整理券が必要詳しく述べは桑原さんへ

A black and white photograph of a woman giving a speech at a podium in a room decorated with Rotary Club and Honmatsu Japan banners. A large map of Asia is visible on the wall behind her. A second woman is seated at a table in the background.

講評する森原淑子さん

写真展を企画した仰緒先生

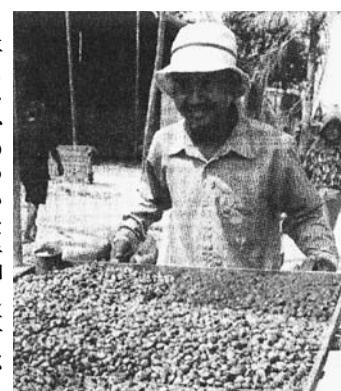
榎戸さんと三林さんの活動を見て、感激の今回の旅

カンボジア訪問七月二十四日（日）～七月二十九日（金）

小原 武次郎



トゥッサナー・カンボジア



炎天下の商売 干し貝売り

*トゥッサナーとは観察するという意味です。

平らな台のついた手押し車に、小さな貝をぎっしり並べて売り歩く。十一月ごろから五月ごろまでカンボジアの乾期には欠かせない街角の景観である。外国人にはちょっと手を出しつづけである。というより、食べるところを撮らせてもらつて。すぐ下痢をする。カンボジア人は大好物である。スナック代わりに買う人も多く、午後にはどの手押し車も空っぽになっている。

榎戸さんは食事の時にいろいろお話を聞いていた。しかし、カンボジアに来る人がカンボジアらしいアクセサリーを求めるとなると、独自の国案（アンコール文化）のものがきっと必要になり、ここ

の受講生たちが作るもののが売れるようになると思われる。私はこのプロジェクトがうまくいくよう祈る気持ちになった。

夜、夢ホームのゲストハウスでうとうとしているとき、カンボジアの子どもたちの「日本語」が聞こえてきた。一日目はあまり気にならなかつたのだが、次日の日本語の声のする図書館をのぞいてみてびっくりした。

子どもたちの日本語は、なんと日本とカンボジアをインターネットで結び、画像と音声で双方向で行なわれている三林さんの「日本語教室」の子どもたちの声だつたのである。

「夢ホーム」の小学生・中学生が熱心に日本語学習に取り組んでいるのに驚いた。クーちゃんに日本語で「どこから来られましたか？」と聞かれて、「日本の大阪です」と応えたが、だれがこのように話せる指導をしたのか分らなかつたが、三林さんのインターネット回線を使った日本語授業の成果なのかもしれないなあと気が付いた。

今回の訪問で、榎戸さんの「職業訓練

米の寄贈と子どもたちとの交流を兼ねて「夢ホーム」を訪れた。「夢ホーム」は図書館や男子寮、スタッフの寄宿舎、21世紀の会の事務所が敷地内に建ち、初めて訪れた時より狭くなつていて、いるように感じた。図書館横の部屋では、榎戸さんのアセサリーの職業訓練プロジェクトが二

回目を迎えていて受講生が熱心に取り組んでいる姿を目にすることができた。

榎戸さんは食事の時にいろいろお話を聞いていた。しかし、カンボジアに来る人がカンボジアらしいアクセサリーを求めるとなると、独自の国案（アンコール文化）のものがきっと必要になり、ここ

の受講生たちが作るもののが売れるようになると思われる。私はこのプロジェクトがうまくいくよう祈る気持ちになった。

夜、夢ホームのゲストハウスでうとうとしているとき、カンボジアの子どもたちの「日本語」が聞こえてきた。一日目はあまり気にならなかつたのだが、次日の日本語の声のする図書館をのぞいてみてびっくりした。

子どもたちの日本語は、なんと日本とカンボジアをインターネットで結び、画像と音声で双方向で行なわれている三林さんの「日本語教室」の子どもたちの声だつたのである。

「夢ホーム」の小学生・中学生が熱心に日本語学習に取り組んでいるのに驚いた。クーちゃんに日本語で「どこから来られましたか？」と聞かれて、「日本の大阪です」と応えたが、だれがこのように話せる指導をしたのか分らなかつたが、三林さんのインターネット回線を使った日本語授業の成果なのかもしれないなあと気が付いた。

今回の訪問で、榎戸さんの「職業訓練

を要すると話されていた。しかし、カンボジア独自の国案を作つたものを作つて自立するためには、あと一、二年かかるかとも未知数な所があるとも話されていた。しかし、カンボジアに来る人がカンボジアらしいアクセサリーを求めるとなると、独自の国案（アンコール文化）のものがきっと必要になり、ここ

の受講生たちが作るもののが売れるようになると思われる。私はこのプロジェクトがうまくいくよう祈る気持ちになった。

夜、夢ホームのゲストハウスでうとうとしているとき、カンボジアの子どもたちの「日本語」が聞こえてきた。一日目はあまり気にならなかつたのだが、次日の日本語の声のする図書館をのぞいてみてびっくりした。

子どもたちの日本語は、なんと日本とカンボジアをインターネットで結び、画像と音声で双方向で行なわれている三林さんの「日本語教室」の子どもたちの声だつたのである。

「夢ホーム」の小学生・中学生が熱心に日本語学習に取り組んでいるのに驚いた。クーちゃんに日本語で「どこから来られましたか？」と聞かれて、「日本の大阪です」と応えたが、だれがこのように話せる指導をしたのか分らなかつたが、三林さんのインターネット回線を使った日本語授業の成果なのかもしれないなあと気が付いた。

今回の訪問で、榎戸さんの「職業訓練

を要すると話されていた。しかし、カンボジア独自の国案を作つたものを作つて自立するためには、あと一、二年かかるかとも未知数な所があるとも話されていた。しかし、カンボジアに来る人がカンボジアらしいアクセサリーを求めるとなると、独自の国案（アンコール文化）のものがきっと必要になり、ここ

の受講生たちが作るもののが売れるようになると思われる。私はこのプロジェクトがうまくいくよう祈る気持ちになった。

夜、夢ホームのゲストハウスでうとうとしているとき、カンボジアの子どもたちの「日本語」が聞こえてきた。一日目はあまり気にならなかつたのだが、次日の日本語の声のする図書館をのぞいてみてびっくりした。

子どもたちの日本語は、なんと日本とカンボジアをインターネットで結び、画像と音声で双方向で行なわれている三林さんの「日本語教室」の子どもたちの声だつたのである。

「夢ホーム」の小学生・中学生が熱心に日本語学習に取り組んでいるのに驚いた。クーちゃんに日本語で「どこから来られましたか？」と聞かれて、「日本の大阪です」と応えたが、だれがこのように話せる指導をしたのか分らなかつたが、三林さんのインターネット回線を使った日本語授業の成果なのかもしれないなあと気が付いた。

今回の訪問で、榎戸さんの「職業訓練



宝石を採集する子どもたち

（理事・関西支部長、中野勝）

書き損じハガキ・未使用切手・商品券をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

送り先：〒176-0011

東京都練馬区豊玉上2-25-7-701 本会事務局へ

事務局便り ■現地事務所では、セン・ソカー所長が一身上の事情

で7月いっぱい退職、代わりにニュー・ピン君をテスト採用しました。今年いっぱい彼の勤務状況をみて、良ければ来年から正式採用します。明るく、とても日本語が上手です。

■第19回ふれあいの旅は、22人参加して11月15日に出発します。その様子は次号会報にて、詳しく報告します。



26歳独身のピン君

11月～12月の予定

- 会報「アンコールワット」11月1日付第61号発行
- 第19回カンボジアふれあいの旅(11月15日～21日)
- 第4回コンボンスブー県小学校対抗サッカー大会(11月19日、現地の中学校校庭)
- 写真展「カンボジアの子どもたち」(12月6日～18日、JICA地球広場：渋谷・広尾)
- 第36回理事会(12月10日・12時～1時、横浜のレストラン「サンアロハ」)
- 会員懇親会(忘年会)(12月10日、1時～3時、横浜のレストラン「サンアロハ」)

カンボジアミニアユース

現地で発行している新聞や情報誌から、カンボジアに関するニュースを紹介いたします。

フン・セン首相、インラック首相就任で対タイ関係の修復を期待

カンボジア証券取引所がオープン

ノンベンカンボジア証券取引所がオープン

ソフトオープンした。最初に上場する予定の政府系公社の準備が間に合わないため、実際の取引開始は今年末になるとみられている。

証券取引所が開設されたカナディアタワーでの式典では、キアット・チヨン副首相が「証券取引所のオープンは、カンボジア経済の信用と透明性を高めるものだ」と挨拶。日系の「SBIノンベン

証券」などが、証券取引に携わる認可を受けた。

アジノモト」などが、証券取引に携わる認可を受けた。

二〇一二年の経済成長率は六・八%

アジア開発銀行（ADB）カンボジア事務所のシニアエコノミストによると、二〇一二年のカンボジアの経済成長率は六・八%の見込みである。それによると、今年のカンボジアの成長率は六・五%であるが、現在の経済の勢いや観光産業や輸出、農業などが好転している状況を踏まえて来年の成長率を六・八とした。また、このままの状態が続けば二〇一三年も同じ水準の経済成長率を維持することができるだろうとしている。

アジノモト」など、味の素が日本の代名詞であり、日本人と思われる外国人に対する「コンニチハ」より「アジノモト」とニコニコ顔で声をかけてくる。それほど、味の素はこの国に根付いていて、人口や町も大きく第二の州である。

カンボジアには一市二十三州（県）ある。バッタンボン州は、首都プノンペンに次いで人口や町も大きく第二の州である。

カンボジアには、貧しい子ども達が学校に行けない現状が深刻な問題となっています。

フン・セン首相は閣議の中で、カンボジア・タイ国境に駐屯している政府軍に

ナワット氏が、カンボジアとタイの関係修復を、数多くの課題のうちの優先課題としている。ナワット氏が、カンボジアとタイの関係修復を、数多くの課題のうちの優先課題としている。

カンボジアの伝統的なサーカスや絵画、楽器、ダンスなどを教えている。この敷地の中

地でもある。カンボジアには、貧しい子ども達が学校に行けない現状が深刻な問題となっています。

ナワット氏が、カンボジアとタイの関係修復を、数多くの課題のうちの優先課題としている。

カンボジアには、貧しい子ども達が学校に行けない現状が深刻な問題となっています。

ナワット氏が、カンボジアとタイの関係修復を、数多くの課題のうちの優先課題としている。

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流してくださるツアーパートナーを募集しています。ツアーパートナーは、年三回実施しています。

農村の貧しい子ども達が学校に行けない現状が深刻な問題となっています。

子どもたちと交流してくださるツアーパートナーを募集しています。ツアーパートナーは、年三回実施しています。

農村の貧しい子ども達が学校に行けない現状が深刻な問題となっています。

子どもたちと交流してくださるツアーパートナーを募集しています。ツアーパートナーは、年三回実施しています。